

第8回朝霞地区訪問看護ステーション連携の会 議事録

- ・日時:令和7年3月12日(水) 17:00～18:00
- ・開催方法: zoom
- ・司会:朝霞地区医師会地域包括ケア支援室 高田
- ・参加者: 連携の会メンバー23名

1. 開会の挨拶

2. 代表鈴木氏より挨拶

- ・ 年2回の貴重な機会であり、活発な意見交換を期待。

3. 議題

3.1 新規事業所の紹介(令和6年12月以降開設事業所)

- ・ とわ訪問看護ステーション 管理者 田口 氏
 - 令和7年3月1日より朝霞市で開設。
- ・ 指定訪問看護アットリハ朝霞 管理者 浅見 氏
 - 看護師2名 ST・PT 在籍、24時間体制。
- ・ 訪問看護ステーションあおい (和光市)
 - 管理者工藤氏都合により欠席
- ・ 訪問看護かえりえ朝霞 管理者変更:石橋氏
 - 昨年11月より朝霞台駅前で開業。
 - 看護師5名体制。

3.2 協定書に関する連絡事項(高田)

- ・ 「感染症・災害時対応協定書協定書」は毎年5月更新される。
- ・ 令和7年「協定書」内容の変更点について
 - キーステーションについての説明記述を削除(規定と重複する為)。
 - 連携シートの説明記述を削除。
 - 名称変更:「朝霞地区訪問看護ステーション連携会議」→「朝霞地区訪問看護ステーション連携の会」
 - 原本管理を代表から事務局へ移行。
 - 連携シートの提出を4～5月に支援室へメールで送付(必須)(連携の会加入事業所)

3.3 運営規定について(鈴木代表)

- 朝霞地区訪問看護ステーション連携の会運営規定を整備。
- 連携の会で承認後、ホームページ掲載予定。(令和7年4月)
- 各メンバーに事前に MCS で一読をお願いした。グループワークの中で質問等を受け、承認をうけたい。

3.4 グループワーク

- ・ 市毎各キーステーションごとに実施。(20分)
- ・ 進行・発表: 各キーステーション・他書記・タイムキーパー

● **グループワーク議題:**

1. 運営規定・協定書内容・連携シートに関する意見交換
2. 第9回連携の会研修会内容について
3. 次年度の目標策定（現行目標：「団結しよう」）
4. 訪問看護ステーション間の情報共有

グループワーク発表内容

* 以下各市ごとの発表内容をまとめ掲載。

1) . 運営規定、協定書、連携シートについて

- 運営規定・協定書・連携シートの理解と承認を得た。
- 令和七年度より正式に運用開始。

2) . 第9回連携の会の開催時期およびテーマ

- ☐ 災害時の連携体制強化のためのシステムが必要、今後検討へ。
- ☐ 被災地の訪問看護ステーションとの情報交換を検討。
- ☐ DMAT 資格者の知識共有を推進。
- ☐ 開催時期については柔軟に対応。
- ☐ 小児の受け入れに関する課題をテーマ。
- ☐ 地区での医療的ケア児の通院動向や受け入れ方法について
- ☐ 災害時のトリアージや感染症対策の研修
- ☐ 研修の形式は対面・Zoom 併用の可能性あり。
- ☐ 小児・褥瘡・ターミナルケア
- ☐ BCP
- ☐ 新人訪問看護師の教育方法についての研修ニーズがある。

3) . 研修方法

- 集合形式と Zoom 形式を研修内容に応じて使い分ける。
- ミニ研修会の開催
- ステーションとの関係のなかで迷ったときに聞ける体制があるとよい

4) . 令和七年度の目標

- 目標案として「団結しよう」に加えて「つながろう」の意見が出る。
- 目標の最終決定は推進メンバー会議にて行い。結果について MCS 連携グループに於いて公開予定。

まとめ

- 今後グループワークでの意見をもとに、研修の開催時期・内容・講師については推進メンバーで協議し、MCS 連携の会グループ内で公開。（4月上旬に推進メンバーで協議予定）
- 運営規定・協定書・連携シートについて承認が得られた。（令和7年より実施）

閉会の言葉 訪問看護つくし 廣田氏より

- 地道に続け、つながりを深めてく。今後ともご協力をお願いします。

以上
文責）高田